



Tivoli Business System Manager

Microsoft SNA Server/Client

インストールおよび構成ガイド

— ご注意 —

本書の情報およびそれによってサポートされる製品を使用する前に、6ページの「特記事項」に記載する一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典 : GC32-0638-00
Tivoli
Tivoli Business System Manager
Microsoft SNA Server/Client
Installation/Configuration Guide
発 行 : 日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当 : ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.11

Entire contents (C)1991 - 2000 by Tivoli Systems Inc. All rights reserved.

Translation: (C) Copyright IBM Japan 2000

目次

特記事項	6
商標	6
Tivoli Business System Manager 用 MICROSOFT SNA Server のインストール	8
SNA サーバーの構成	16
Tivoli Business Systems Manager 用 MICROSOFT SNA Client のインストール	22
SNA Client の構成	27
Tivoli Business Systems Manager での LU 6.2 サポートの検証	28

特記事項

本書の情報は、予告なしに変更される場合があります。

このマニュアルで例として使用されている企業、名称、および日付は、特に注釈がない限り、架空のものです。本書のいかなる部分も、Tivoli Systems Inc. の事前の書面による許可がない限り、いかなる形式または手段 (電子的にも機械的にも) であっても、いかなる目的においても、複製または送信することはできません。

商標

Tivoli Systems Inc.、Tivoli Systems ロゴ、Tivoli Business Systems Manager、および Tivoli Business Systems Manager 製品は、Tivoli Systems Inc. の登録商標または商標です。

AIX および MVS は、IBM Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における商標です。

Windows、Windows NT、および Windows 95 は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Tivoli Business System Manager 用 MICROSOFT SNA Server のインストール

注意 Microsoft SNA Server バージョン 4、Service Pack 2 以上が必要です。

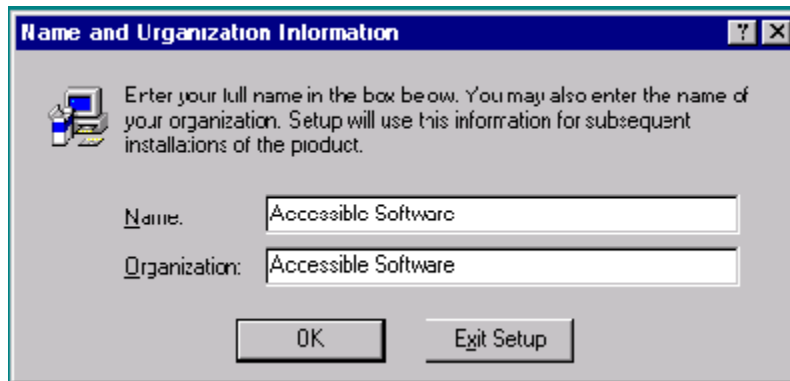
ステップ 1. SNA Server インストール・ドライブの I386 ディレクトリーに入っている SETUP ユーティリティを実行します。SETUP が立ち上がると以下のような画面が表示されます。

「Continue」を選択します。

注意 インストール中に表示される画面の中には、本書に掲載していないものもあります。本書では、プログラムのご使用条件に関する画面は省略しています。ライセンスに関する画面が表示されて、お客様がこれに合意し、適用する場合は「Agree」ボックスをチェックしてください。



ステップ 2. 任意の「**N**ame」または「**O**rganization」を入力します。



The dialog box is titled "Name and Organization Information". It contains a small icon of a computer monitor and a text box for "Name" and a text box for "Organization". Both text boxes contain the text "Accessible Software". At the bottom, there are two buttons: "OK" and "Exit Setup".

Enter your full name in the box below. You may also enter the name of your organization. Setup will use this information for subsequent installations of the product.

Name: Accessible Software

Organization: Accessible Software

OK Exit Setup

ステップ 3. SNA サーバー CD で提供されている「**C**D Key」を入力します。「**O**K」をクリックします。



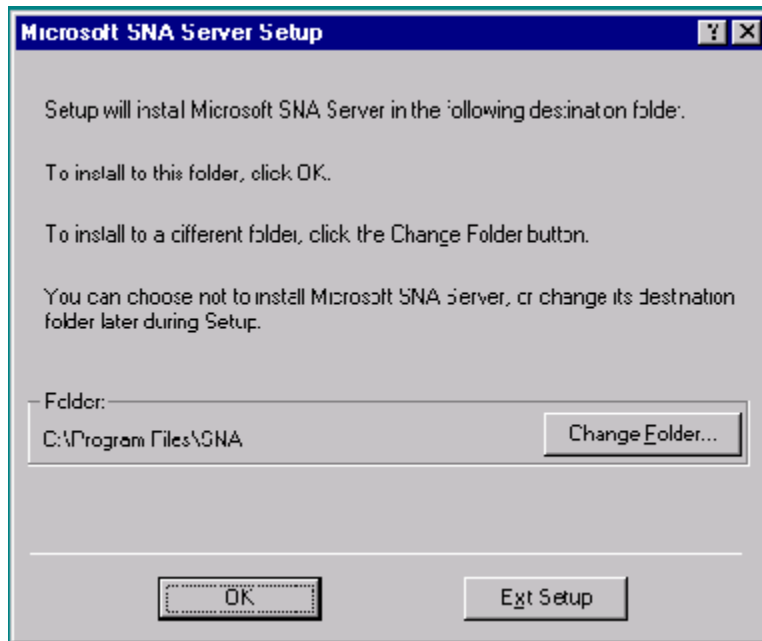
The dialog box is titled "Microsoft SNA Server Setup". It contains a text box for "CD Key" and a text box for "CD Key". The text box for "CD Key" is divided into two sections by a hyphen. At the bottom, there are two buttons: "OK" and "Exit Setup".

Locate your 10-digit "CD Key" number and enter it in the space below. You can find this number on the sticker on the back of your CD case

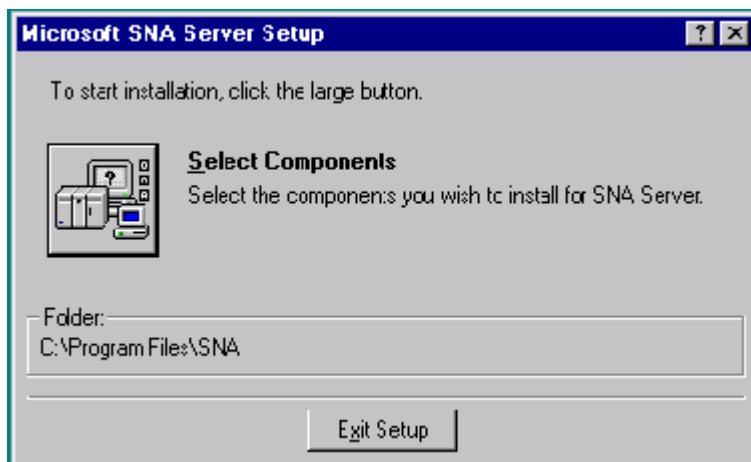
CD Key:

OK Exit Setup

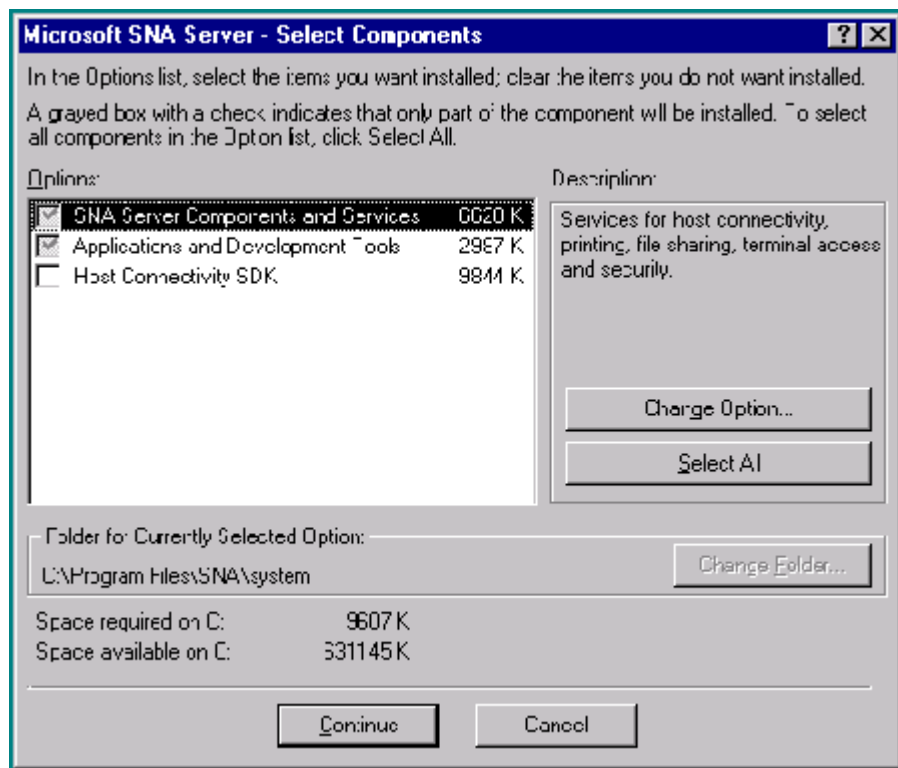
ステップ 4. SNA Server をインストールするフォルダーを選択して、「**OK**」をクリックします。



ステップ 5. 次の画面で「**Select Components**」をクリックします。



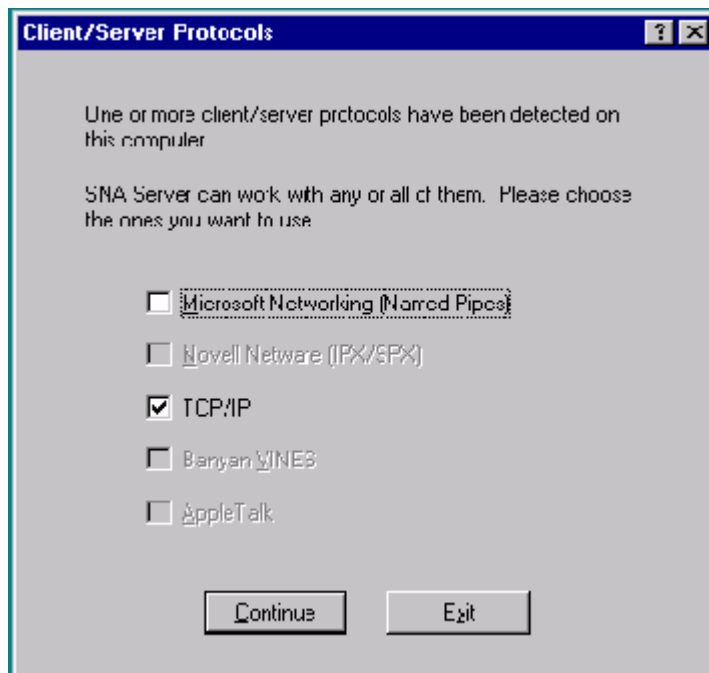
ステップ 6. Tivoli Business Systems Manager では、デフォルトのコンポーネントを使用することができますが、「**Change Option**」を選択して「**SNA Server Components and Services**」および「**Applications and Development Tools**」を表示し、使用可能なオプションを検討することもできます。これらのオプションを検討し終わったら、「**Continue**」を選択します。



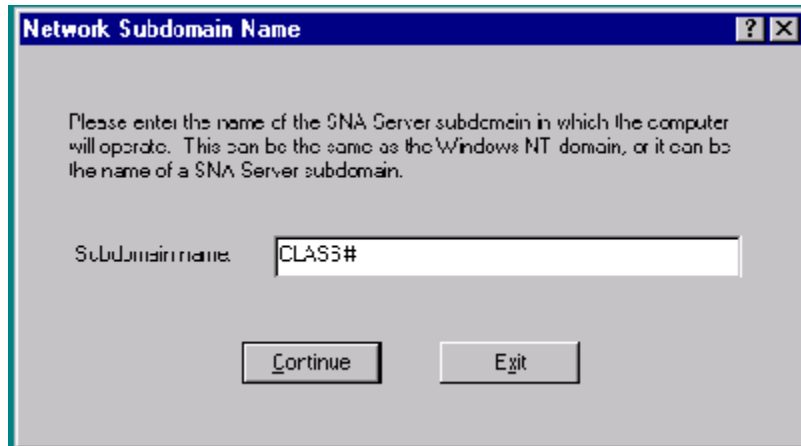
ステップ7. インストール用に、サーバーの役割に「**Primary configuration server**」を選択します。1つのSNAサブドメイン内には、1つのPrimaryサーバーしかインストールできないことに注意してください。ユーザーのロケーションにその他のSNA Serverが入っている場合は、お近くのSNA Server サポート担当者までご連絡ください。「1次」SNAサーバーは、構成ファイルのマスター・コピーを保守します。「**C**ontinue」をクリックします。



ステップ8. ユーザーの環境に対して適切なプロトコルを選択します。「**C**ontinue」をクリックします。

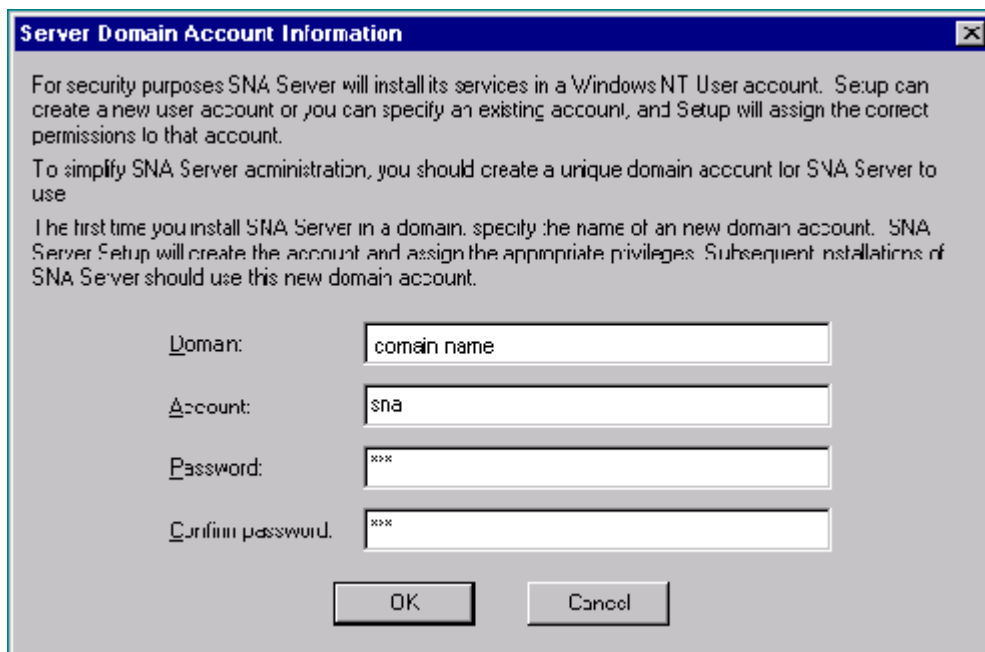


ステップ 9. SNA サブドメインを入力します。1 次 SNA サーバーとして稼働するように、必ずドメイン内で固有な名前を入力してください。「**C**ontinue」をクリックします。



ステップ 10. 「**Domain**」ボックスにドメイン名を入力します。これが、このサーバーに割り当てられた Windows NT ドメイン名になります。新規に固有の「**Account**」名および「**Password**」を入力します。これにより、セットアップ・プログラムは、適切な権限を持った SNA サービス用のユーザー ID を作成することができます。SNA Server のインストールで使用するユーザー ID およびパスワードは、SNA クライアントのインストール中にも必要となるので注意してください。使用しているユーザー ID およびパスワードは、クライアントのインストールのためにメモしておいてください。「**OK**」をクリックします。

注意 パスワードは、大文字小文字を区別します。



Server Domain Account Information

For security purposes SNA Server will install its services in a Windows NT User account. Setup can create a new user account or you can specify an existing account, and Setup will assign the correct permissions to that account.

To simplify SNA Server administration, you should create a unique domain account for SNA Server to use.

The first time you install SNA Server in a domain, specify the name of a new domain account. SNA Server Setup will create the account and assign the appropriate privileges. Subsequent installations of SNA Server should use this new domain account.

Domain:

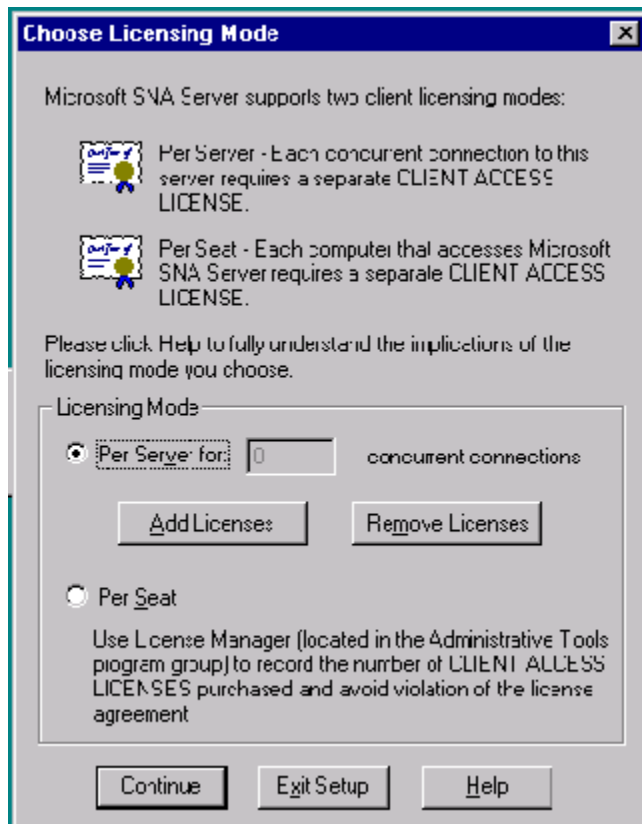
Account:

Password:

Confirm password:

OK **Cancel**

ステップ 11. ライセンス・モードを選択します。通常は、「Per Server」モードを使用します。「Add Licenses」をクリックします。「Continue」をクリックします。



ステップ 12. 取得している SNA クライアント・ライセンス数と同じ数を「Quantity」に入力して、「OK」をクリックします。



ステップ 13. この時点で、コンピューターを再始動します。バックアップが済んでいれば、SnaServer サービスを更新してください。コンピューターが自動的に始動します。

SNA サーバーの構成

SNA サーバーを構成する前に、以下の表を作成して構成に必要な情報を準備しておくくと便利です。

パラメーター	値	ヒント
VTAM メジャー・ノード名		アプリケーション ID および PU メジャー・ノード名
ネットワーク名		D NET, VTAMOPTS, OPTION=NETID
制御点名		VTAM SW メジャー・ノードの CP 名
PU 名		VTAM SW メジャー・ノードの PU 名
ローカル・ノード ID (XID)		VTAM SW メジャー・ノードからの IDNUM/IDBLK
ローカル / パートナー LU 別名 /LU 名		VTAM SW メジャー・ノードの LU 6.2
リモート LU 別名 /LU 名		ラボ 1 のアプリケーション ID
リモート・ネットワーク・アドレス		VTAM メンバーの XCAE40E を参照
リモート SAP アドレス		VTAM メンバーの XCAE40E を参照
SNA サーバー名		SNA サーバーがインストールされているマシンの名前

これで SNA サーバーを構成する準備が整いました。「**Programs**」メニューから、「**Microsoft SNA Server Manager**」アプリケーションを選択します。

いくつかのサーバーから、SNA Server をインストールするサーバー名を見つけてください。以下のように構成を変更します。SNA Server は、従来使用されている Windows アプリケーションです。プロパティ・メニューにアクセスするには、いずれかのオブジェクトを右クリックして、「プロパティのボタン」を選択します。構成は、ドロップダウン・メニューから保管することができます。必ず、構成を保管してから SNA サーバー・マネージャーを終了してください。

1. **SNA サービスを挿入します。** SNA マネージャーが接続する VTAM/NCP 環境のネットワーク名および制御点名を必ず入力してください。

SNA サービスが挿入されたら、プロパティを編集し、提供されているネットワーク名および制御点名を追加しなければなりません。

タイトル	SNA サービス用の名称
Comment is optional	
Network Name is required	
Control Point Name is required	

- 作成された SNA サービスの代わりとして、使用中の物理接続タイプをサポートするプロトコルを使用して、リンク・サービスを挿入します。

たとえば、トークンリングでは、DLC 802.2 プロトコルを使用することができます。

タイトル	リンク・サービス用の名称
Adapter name of Token Ring	
SAP	x04
Check	Fixed SAP
Check	allow Link Service to be distributed

- リンク・サービス用の接続を挿入します。

一般タブ

タイトル	接続サービス用の名称
Name	Name for connection.
Select service name of link service	
Comment is optional	
Remote End	Host System
Allowed Directions	Both Directions
Activation	On Server Startup

アドレス・タブ

タイトル	接続サービス用の名称
Remote Network Address	12 Byte Mac Address
Remote SAP address	x04

システム識別タブ

タイトル	接続サービス用の名称
Local Node Name	
Network Name	provided in #1 above

Control Point Name	*-cpname defined on the PU2.1 node
Local Node ID	*-IDNUM and IDBLK defined on the PU2.1 node
XID type	Format 3
Remote Node Name options.	Do not fill in
Compression Type	None

*- この情報は、VTAM/NCP システム・プログラマーから入手してください。

802.2 DLC タブ

デフォルト設定をそのまま使用してください。

この時点で物理接続がセットアップされ SNA サーバー内の定義が正しければ、SNA サービスを始動したときに接続がアクティブになるはずです。始動すると、SNA サービスおよび接続名上に「アクティブ」状況であることが表示されます。

4. ローカル APPC LU を挿入します。

一般タブ

タイトル	ローカル APPC LU 用の名称
LU Alias	*-The name of the Independent LU
Network Name	same name as provided in #1
LU Name	same name as LU Alias
Comment is optional	

拡張タブ

タイトル	ローカル APPC LU 用の名称
member of default outgoing local APPC LU Pool	Check
Timeout for starting invokable TPs	600 seconds
Implicit Remote LU	None
LU6.2 Type	Independent
SyncPoint Support enabled	チェックなし

VTAM 内に常駐している PU2.1 ノードを定義するローカル APPC LU は、1 つしか存在しません。

5. リモート APPC LU を挿入します。

一般タブ

タイトル	リモート APPC LU 用の名称
Connection	Assign connection name to be used
LU Alias	*-Remote APPC LU
Network Name	same name as provided in #1
LU Name	same name as LU Alias
Uninterpreted Name	same name as LU Alias
Comment is optional	

オプション・タブ

タイトル	リモート APPC LU 用の名称
Parallel Sessions	check
Implicit Incoming Mode	None
Session level security	No

OS/390 サーバー・アドレス・スペースに対し定義された各 APPC アプリケーション ID につき、1 つのリモート APPC LU 定義をセットアップします。つまり、Tivoli Business Systems Manager for Windows NT によるデータの収集元である MVS システムが 8 つある場合は、このセクション内には 8 つのリモート APPC LU 定義がなければなりません。

6. APPC モード を挿入します。

一般タブ

タイトル	モード・タブ 用の名称
Mode Name	LU62PS
Comment is optional	

制限タブ – 必要に応じて変更可能

タイトル	数値
Parallel Session Limit	4
Minimum Contention Winner Limit	1
Partner Min Contention Winner Limit	1
Automatic Activation Limit	0

特性タブ – 必要に応じて変更可能

タイトル	数値
Pacing Send count	7
Pacing Receive count	7
Max Send RU size	1024
Max Receive RU size	1024

パートナー・タブ

「Add」の指示に従って、LU 対、ローカル LU 名、およびリモート LU 名を関連付けてください。

圧縮タブ

デフォルト設定をそのまま使用してください。

7. CPIC 記号名を挿入します。

挿入すべき記号名は、2 つあります。記号名 ACC1RCV は、SNA マネージャーに代わってクライアントが受信する、データのプロセス名に関連付けられています。記号名 ACC1RECV は、クライアントから OS/390 へ送信されるデータのプロセス名に関連付けられています。ACC1RECV は、LU6.2(APPC) アップロード機能を実行する際にのみ使用されます。FTP アップロード機能を使用するクライアントには、ACC1RECV は必要ありません。

ACC1RCV**一般タブ**

タイトル	CPIC 記号名用の名称
Name	ACC1RCV
Comment is optional	
Conversation Security	None
Mode Name	LU62PS

パートナー情報タブ

タイトル	CPIC 記号名用の名称
Check Application TP	Enter ACC1RCV in the box to the right
Partner LU Name Alias	Local APPC LU name

ACC1RECV**一般タブ**

タイトル	CPIC 記号名用の名称
Name	ACC1RECV

Comment is optional

Conversation Security None

Mode Name LU62PS

パートナー情報タブ

タイトル	CPIC 記号名用の名称
Check Application TP	Enter ACC1RECV in the box to the right
Partner LU Name Alias	Remote APPC LU name

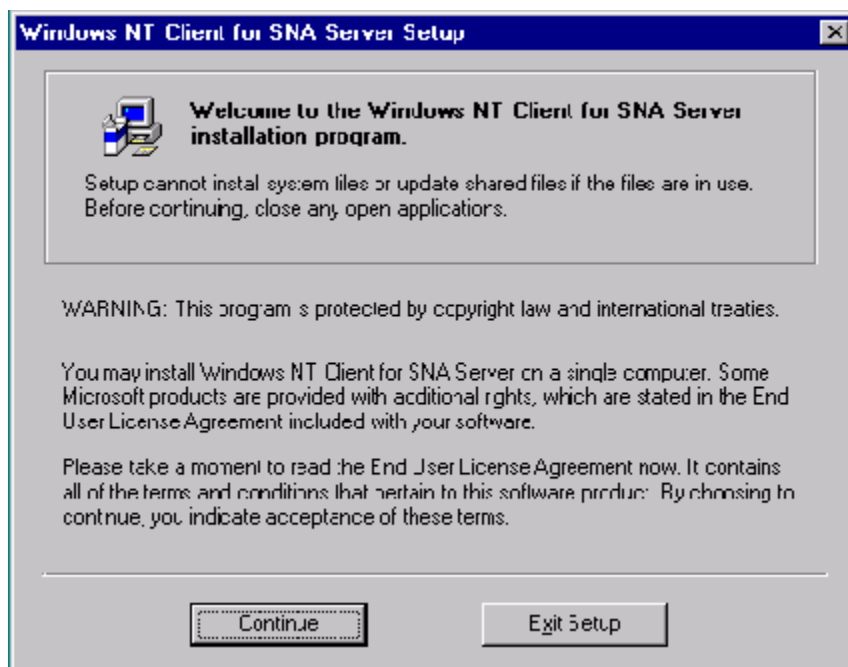
これで SNA サーバー・マネージャーの構成は終了し、SNA マネージャー・クライアントによって使用されることが可能になりました。

注意 SNA サーバーの変更を行う際には、接続および SNA サーバー・サービスは停止していなければなりません。変更作業が終わったら、SNA サービスおよび接続名を再始動する前に、必ず変更後の構成を保管してください。クライアントがすでに構成済みの場合は、SNA サーバーを変更した後にはクライアントもリブートする必要があります。

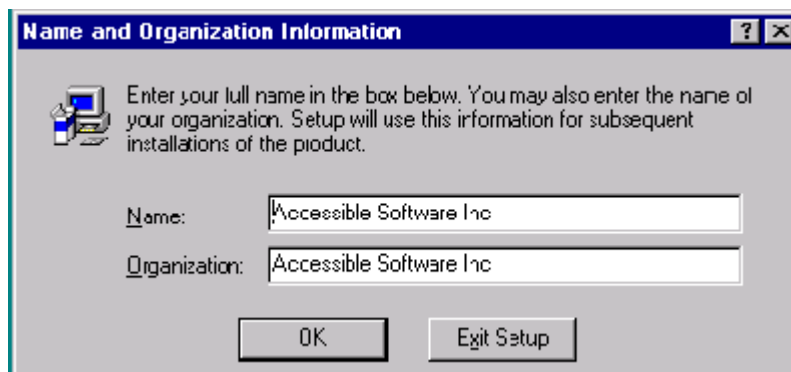
Tivoli Business Systems Manager 用 MICROSOFT SNA Client のインストール

ステップ 1. SNA SERVER CD の Clients¥Winnt¥I386 ディレクトリーに入っている SETUP ユーティリティを実行します。SETUP が立ち上がると以下のような画面が表示されます。「Continue」を選択します。

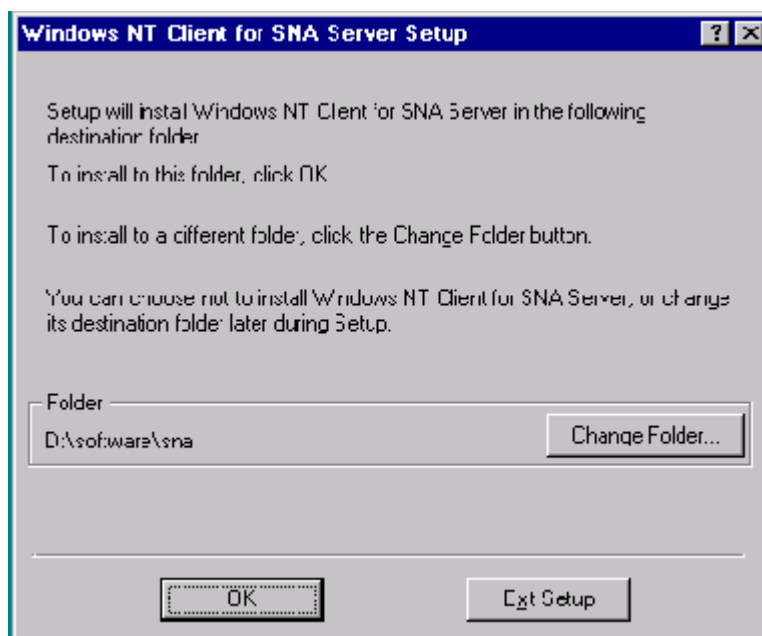
注意 – インストール中に表示される画面の中には、本書に掲載していないものもあります。本書では、プログラムのご使用条件に関する画面は省略しています。ライセンスに関する画面が表示されて、お客様がこれに合意し、適用する場合は「Agree」ボックスをチェックしてください。



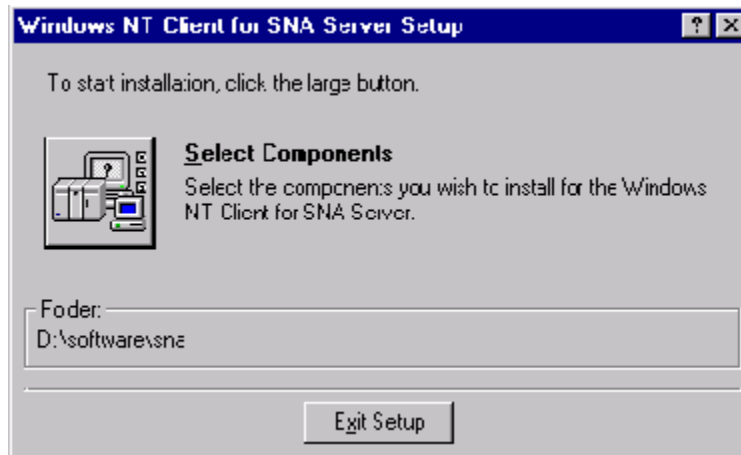
ステップ 2. 任意の「**Name**」および「**Organization**」を入力します。



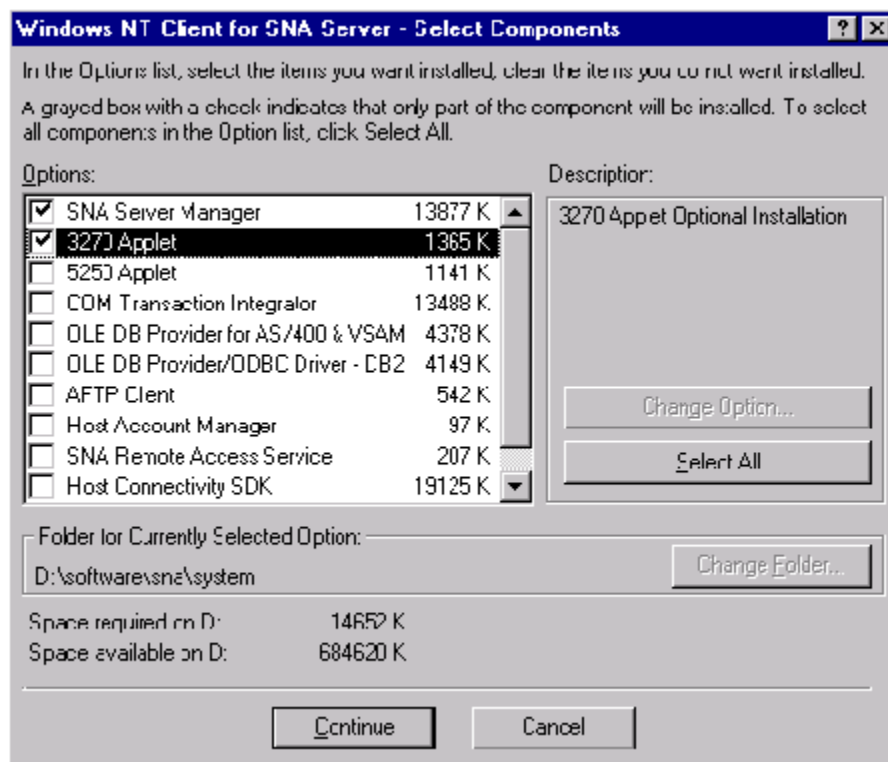
ステップ 3. SNA クライアントをインストールするフォルダーを選択して、「**OK**」をクリックします。



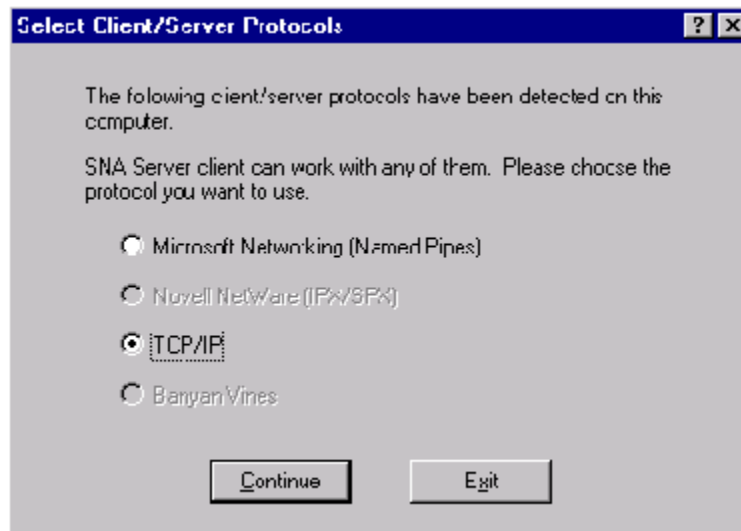
ステップ 4. 「**Select Components**」 ボタンをクリックします。



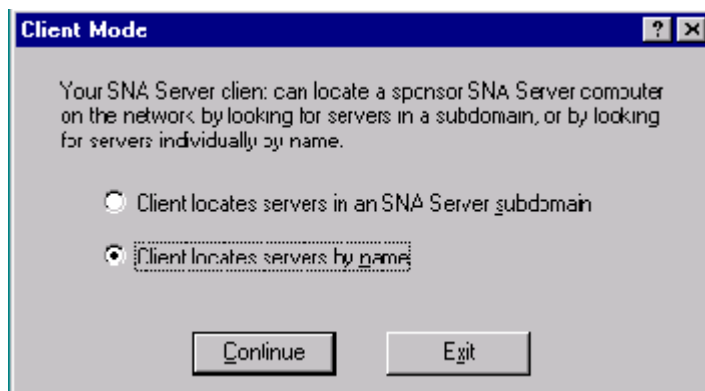
ステップ 5. 「**Options**」 リスト・メニューから、「**SNA Server Manager**」および「**3270 Applet**」を選択します。「**Continue**」をクリックします。



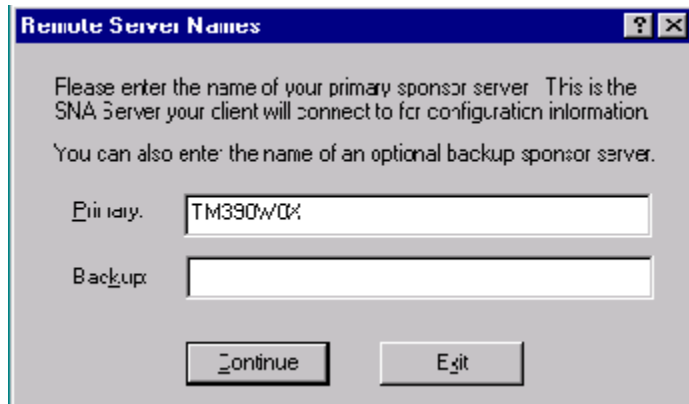
ステップ 6. ユーザーのインストールに対して適切なネットワーク・プロトコルを選択して、「Continue」をクリックします。



ステップ 7. クライアント・モードに、「Client locates servers by name」を選択します。「Continue」をクリックします。

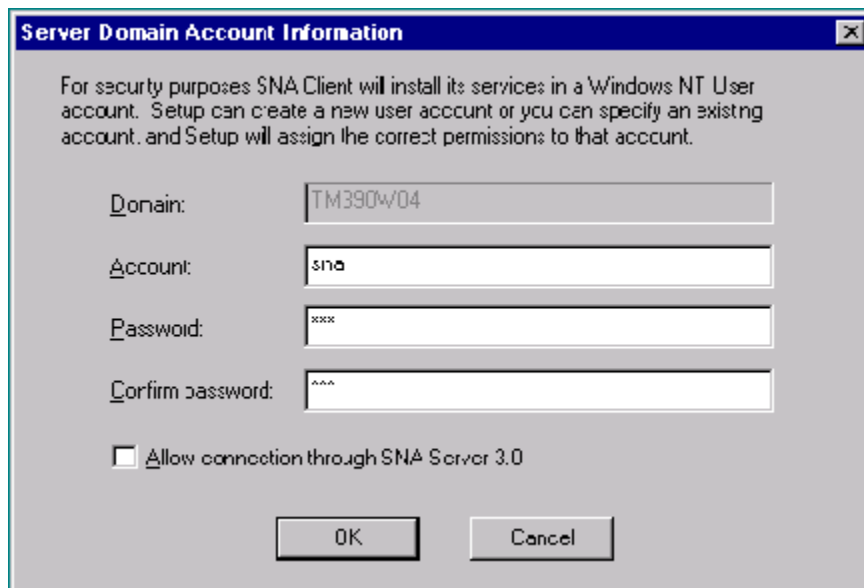


ステップ 8. このクライアントが使用する 1 次サーバーとして、ユーザーの SNA サーバーの名前を入力します。「**C**ontinue」をクリックします。



The dialog box titled "Remote Server Names" contains the following text: "Please enter the name of your primary sponsor server. This is the SNA Server your client will connect to for configuration information. You can also enter the name of an optional backup sponsor server." Below the text are two text input fields. The first field, labeled "Primary:", contains the text "TM390W04". The second field, labeled "Backup:", is empty. At the bottom of the dialog are two buttons: "Continue" and "Exit".

ステップ 9. ドメイン・アカウント情報を入力します。SNA Server のインストール中に入力したものと、同じアカウントおよびパスワードを使用してください。



The dialog box titled "Server Domain Account Information" contains the following text: "For security purposes SNA Client will install its services in a Windows NT User account. Setup can create a new user account or you can specify an existing account, and Setup will assign the correct permissions to that account." Below the text are four text input fields. The first field, labeled "Domain:", contains the text "TM390W04". The second field, labeled "Account:", contains the text "sna". The third field, labeled "Password:", contains the text "xxx". The fourth field, labeled "Confirm password:", contains the text "xxx". Below the fields is a checkbox labeled "Allow connection through SNA Server 3.0", which is currently unchecked. At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "Cancel".

ステップ 10. Windows を再始動して、SNA クライアントのインストールを終了します。

SNA Client の構成

1. TPSETUP ユーティリティをインストールし、実行します。

TPSETUP は、SNABASE サービス・レジストリー・キー内の呼び出し可能 TP エントリーを定義するために使用します。

TPSETUP ユーティリティは、SNA Server CD の ¥I386¥SDK¥Samples¥Bin¥Winnt¥I386 内に入っています。

ユーティリティが使用可能になったら、ユーティリティを実行してください。すると、TP インストール用のウィンドウ・ダイアログが表示されます。3 つの編集ボックスを更新する必要があります。コマンド行の項目を更新する際には、必ず「ASIServiceApp」への正しいパスを使用するようにしてください。

- TP 名 ACC1RCV
- コマンド行 C:¥TivoliManager¥bin¥ASIServiceApp.exe -nASIMVSListenerSvc
- ローカル LU 別名 ローカル LU 名 (SNA サーバー・マネージャーで定義されているローカル LU 名と同じ名前)

Setup (セットアップ)	チェックなし
Queued (キュー)	チェックなし
Conversation security (会話セキュリティ)	チェックなし
Accepts previously verified passwords (以前に確認されたパスワードを受け入れる)	チェックなし
Timeout (タイムアウト)	Infinite (制限なし)

「OK」ボタンを選択すると、SnaBase キー内のレジストリー・エントリーが作成されます。

2. Windows NT ワークステーションの始動時に、クライアント上で実行する TPSTART.exe プログラムをインストールします。

SNA クライアントが LU6.2 サービスを使用して SNA マネージャーと通信できるようにするには、バックグラウンド・タスクである TPSTART プログラムを実行する必要があります。

TPSTART プログラムは、SNA クライアントがインストールされている SNA¥System フォルダーに入っています。ワークステーションの Startup フォルダー内に、ショートカットをセットアップしてください。

注意 上記の変更を行った際に、リブートする必要はありません。ただし、リブートしない場合は、TPSTART を手動で始動する必要があります。
構成が終了したら、構成の妥当性検査に進んでください。

Tivoli Business Systems Manager での LU 6.2 サポートの検証

Tivoli Business Systems Manager Source/390 および Microsoft SNA Server 間の物理接続を検証するには、以下のステップを実行してください。

SNA マネージャー・アプリケーションをオープンして、接続がアクティブになっているかを表示します。接続がアクティブでない場合は、接続を開始してください (Microsoft SNA Server のヘルプ解説を参照してください)。

物理接続の検証が済んだら、Tivoli Business Systems Manager for Windows NT で MVS listener サービスを使用することができます。Tivoli Business Systems Manager コンポーネントを始動して、以下を検査します。

- A. SNA PU が、SNA サーバー・マネージャーおよび VTAM で表示されたときにアクティブになっていること。
- B. SNA LU が、SNA サーバー・マネージャーおよび VTAM の両方で表示されている際に、2 つのセッションを持っていること。トラップを MVS へアップロードする際に、LU6.2 送信側サービスを使用している場合は、3 つのセッションがあるはずですが (後出の D の項目を参照してください)。
- C. 「ASIServApp.exe」が SNA クライアント PC で実行されていること (タスク・マネージャーで表示できます)。これは、listener 処理を表します。
- D. LU6.2 送信側サービスの「MVSSenderSvc-osname」を使用する場合は、必ず SNA クライアント・マシンで始動してください。送信側サービスのログ記録である MVSS* を表示して、接続が確立されていることを確認します。
- E. クライアントのディレクトリー TM LOGS に以下のログ・ファイルが作成されているはずですが。それぞれのファイルについてエラーがないか、また内容についても確認してください。

listener 処理については、以下のとおりです。

‘MVSL_osname_yyyymmddhhmm’

‘LSyyyymmddhhmm’

‘osname_2000mmdd’によって呼び出された DAT ファイル。MVS から送信されすべてのデータが記録されている。

送信側サービスについては、以下のとおりです。

‘MVSS_osname_yyyymmddhhmm’

